

2022 年 2 月 3 日

【転職】6 割が 1 年以内に転職を検討

【新型コロナウイルスワクチンの接種状況】9 割の会社員が開示する

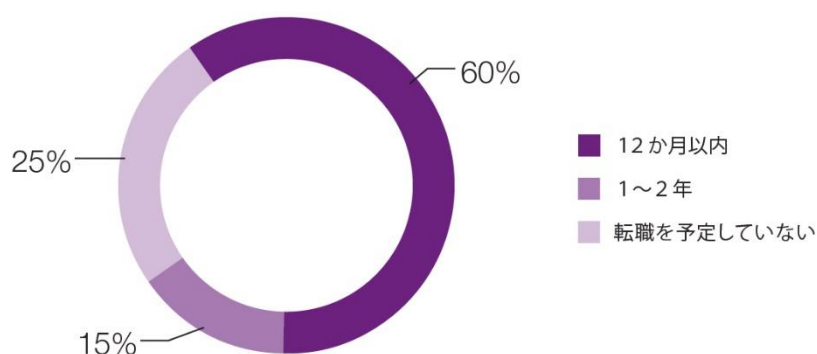
人材紹介会社ロバート・ウォルターズ、首都圏・関西圏の給与・採用動向を発表

グローバル人材の転職を支援する人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ジェレミー・サンブソン）は 2 月 3 日、首都圏、関西圏を中心に国内で働く会社員 855 人と国内 170 社が回答を寄せた「給与調査 2022」の結果などをもとに、国内の採用・給与動向を発表しました。

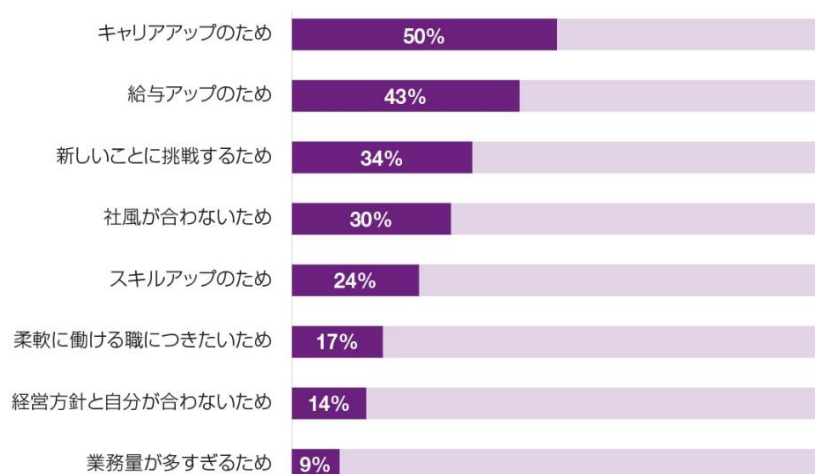
【転職】6 割が 1 年以内に転職を検討

1 年以内に転職を予定していると回答した会社員は 60%でした。ただ、4 人に 1 人が「すぐに転職先を探す予定はない」と回答しており、コロナ禍の影響を受けての経済状況に鑑み、会社員が転職へ慎重になっていることが伺えます。転職の動機は、1 位「キャリアアップのため」（50%）、2 位「給与アップのため」（43%）、3 位「新しいことに挑戦するため」（34%）となっています。

次の転職はいつ頃で検討していますか？



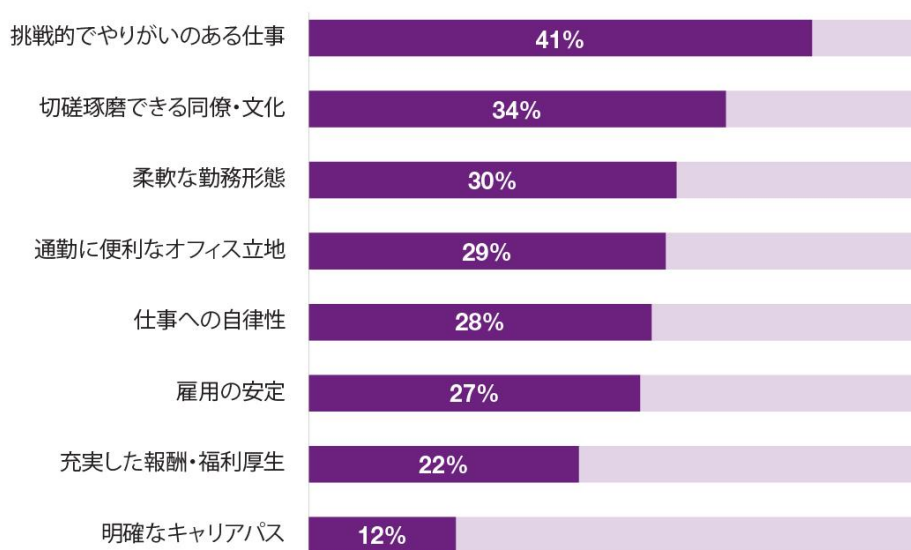
転職の動機



【2022 年、会社員が雇用主に期待すること】「やりがい」、「切磋琢磨できる同僚・文化」、「柔軟な働き方」

会社員に企業に期待するポイントについて尋ねたところ、最も多かった回答は「挑戦的でやりがいのある仕事」（41%）でした。2 位は「切磋琢磨できる同僚・文化」（昨年、同調査で 1 位）、3 位「柔軟な働き方」と続きました。昨年はランク外だった「通勤に便利なオフィス立地」がトップ 5 に返り咲いたことから、在宅ワークとオフィスワークを組み合わせたハイブリッドワークが浸透し始めているようです。

企業に期待すること（3つまで選択可）

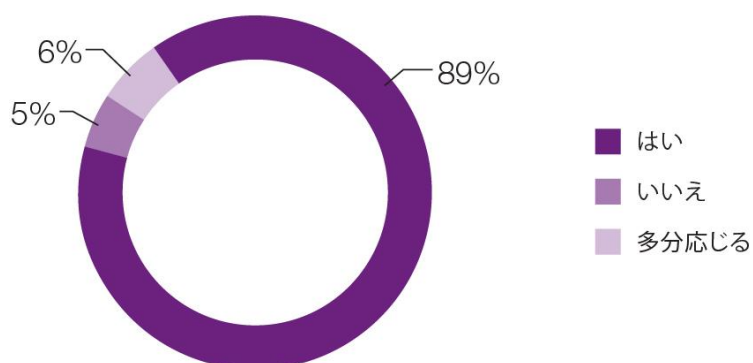


【新型コロナウイルスワクチンの接種状況】会社員 89%は接種状況の開示に応じる

転職する際に、企業から新型コロナウイルスワクチンの接種状況の開示を求められた場合、89%が接種状況を企業に伝えると回答しました。一方、接種状況を公開しないと回答した人は、わずか 5%でした。

海外では、企業が社員にワクチン接種を義務づける動きもなどありますが、多くの日本企業はワクチンの接種状況開示やワクチンの接種を社員に強要することには慎重です。オミクロン株の感染拡大もあり、今後、日本でも採用時に接種状況の開示を求められるようになるかどうかは分かりませんが、今回の調査結果から多くの会社員は転職のためにワクチン接種状況を伝えることに抵抗はないと言えそうです。

転職予定企業に対して、コロナウイルスワクチンの接種状況の開示に応じますか？



調査期間：2021年10月～11月

対象：国内企業、外資系の日本法人 n=170 社、当社に登録のある国内で働く会社員 n=855 人

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界31カ国/地域の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのためのグローバル人材紹介会社です。ロバート・ウォルターズ・ジャパンは同社の日本オフィスで、バイリンガル人材に特化しています。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設。グローバル企業、日系企業ともに世界有数のトップ企業から新規参入企業、中小企業に至るまで、多岐に渡る業種・職種、正社員および派遣・契約社員と幅広い採用ニーズに応えた人材紹介をおこなっています。世界で戦う日本人アスリート、各種NPOの支援など日本社会への貢献にも積極的に取り組んでいます。